

26回を迎える東部交流会 42名参加

牛乳でカンパ〜イ!!



今回で二十六回を迎えた東部管内組合員交流会が開催され、組合員・家族・関係団体等から四十二名が参加された。今回の幹事役は、三原市酪農振興会と世羅郡酪農振興協議会が担われ、内海利彦さんの司会進行で進められた。

開会では、東部活性化連絡協議会の山本芳紀会長から「例年どおり開催できて感謝します。平昌オリンピックでは、メダルを獲得された方のコメントを聞くと自分を支えてくれた方への感謝を述べられており印象に残ります。我々も日頃から支えられていることに感謝し、日々頑張つて行きましょう」と感謝の気持ちに触れて挨拶された。

続いて、担当幹事を代表して新舎和久会長からは「この度は世羅と三原の合同開催です。本日はお忙しい中、多数集まって頂き有り難うございます。東部事業所は倉庫となります。営業日が少なくなりまして、こうした集まる機会を通じて、しっかりと交流を楽しんで下さい」と歓迎された。

岩竹重城組合長(広酪)からは、改正畜安法に触れて、平成三十年度から生乳出荷先を自由に選定出来る状況にあつて、広酪の組合員全員と生乳委託契約を締結した報告と御礼、四月一日からの「乳量データ収集システム」の運用開始に伴つて、集乳伝票の乳量表示が「L」から「kg」に変更、乳用牛導入価格の高騰から後継牛確保を懸念し、若齢預託牧場の検討委員会で検討を進めている等に触れての挨拶があつた。

交流会では、コップに注がれた牛乳を片手に山陽乳業(株)の砂内修治社長から、日頃の感謝と経営状況に触れて乾杯発声し開宴となった。目の前の料理を美味しく頂きながら、酒を酌み交わしての和やかな雰囲気での交流を深められた。

最後は、次回担当幹事となる福山地方酪農協議会を代表して井上栄一さんが万歳三唱を行い、次の再会を約束し閉会した。

北広島町酪農団体連絡協議会

二月十九日 広島北ホテル

新年会く若い力に 期待して

北広島町酪農団体連絡協議会(会長 西原嘉一)の主催による新年会が広島北ホテルにて開催された。

来賓には、広酪の鈴木道弘専務、河井克行衆議院議員、北広島町から農林課課長(町長代理)、町議会会議長、議員、その他関係団体を迎え、会員あわせて総勢三十二名の出席があった。



開会挨拶にたった西原会長は「西部は若い酪農就農者が多く、この力に期待してほしい」と述べ、来賓挨拶では河井克行衆議院議員より、「酪農施策については非常に注目しており、畜産クラスターを含めた酪農事業やヘルパー事業ものの活用を」と呼びかけられた。続いて、鈴木専務は最近の酪農情勢を述べた後、乾杯へと移り、日頃の労をねぎらいつつ、会員、関係団体との交流を深められていた。

西部ミルク会

二月十三日 北広島診療所二階会議室

優しく丁寧に 『フラワーアレンジメント』

西部ミルク会(会長 砂子靖子)は、恒例のフラワーアレンジメント教室を開き、講師には、北広島町在住で花卉生産者の岡広勲さんを招き、会員六名の参加があった。



会員は、講師のアドバイスを受けながら、優しく丁寧に春花を生けられた。当日、やむを得ぬ所用から不参加となった会員の皆さんのもとへとフラワーアレンジメントした作品をお届けされた。

庄原市酪農連絡協議会

二月六日 庄原市役所第一委員室

畜産クラスター対応 市連絡協の規約整備

庄原市酪農連絡協議会(会長 向田康浩)は、管内の酪農家による畜産クラスター事業への参加ニーズへの対応を進めるにあたり、臨時総会を開催した。会員三十一名の内、委任状を含めて二十二名の出席があり、規約に定める会員の過半数の出席を満たしたことから、臨時総会の有効成立を宣言し議事に入った。



議長には、向田会長があたり、議事録署名者には藤岡裕士氏、堀内宏志氏の両氏を選任。上程議案は、①規約変更、②役員変更、③事業計画(案)、④畜産クラスター計画(案)の原案を承認した。

この臨時総会での畜産クラスター計画の承認を受けて、平成二十九年年度補正予算による畜産クラスター事業への参加会員にかかる対応が可能となった。この事業での取り扱いは、主に育成牛舎の建設などハード面にかかる取り扱いが行われる予定である。